

## 第2章 これからの図書館サービスのあり方

練馬区における「これからの図書館サービスのあり方」について、次のように図書館運営の基本理念およびサービスの方向性を定めます。

### 1 基本理念

情報拠点として 区民に役立ち 頼りにされ 愛される図書館

- 区民の生涯にわたる心豊かな潤いのある暮らしを支え、知識や知恵を得るための蔵書や情報の体系的な収集と管理・保存を行う図書館
- 区民や地域が抱えるさまざまな課題を、自らが解決し満足を得るために、的確な資料の提供と、適切な案内をする図書館
- 区民や関係団体が図書館の運営に参加し、区民と協働する地域に根ざした図書館

### 2 これからの図書館サービスの方向性

図書館運営の基本理念を実現するため、次の4項目を「これからの図書館サービスの方向性」とします。

#### (1) 情報発信拠点の機能の充実

##### 【現状】

図書館では、一般的な資料の収集・保存とともに、練馬区や東京都などが発行する行政資料の収集と管理・保存、公示資料の閲覧、パンフレットの配布など、さまざまな行政情報の提供を行っています。

また、各図書館の近隣地域に関する情報の収集や、地域で行っている行事、活動などを図書館で紹介し、地域に密着した情報の提供を行っています。

図書館情報システムでは、自宅のパソコンや携帯電話による資料の検索や予約、レファレンスサービス(※)の申込、事業案内の確認などができます。

※ レファレンスサービス：調査や研究、学習などの際に、図書館の資料や必要な情報を調べて提供するサービス

#### ◆ 平成24年度区民意識意向調査から

〈 今後の図書館情報システムに求める機能 〉

- ・ 本や雑誌、CDなどの検索速度・検索結果表示速度の向上(29.3%)
- ・ 予約かご機能など、予約機能の充実(26.8%)
- ・ 電子書籍の閲覧や貸出・返却など電子図書館の構築(22.4%)
- ・ おすすめ図書やメールマガジンなど、情報発信の充実(15.9%)

## 【方向性】

区民が容易かつ確実に情報を得られるよう、体系的な資料収集を行い、区政情報などの情報発信を積極的に行います。情報を発信する際には、資料の提供のみにとどまらず、区の各部所との連携強化を図り、関連情報の提供に努めます。

また、図書館 12 館がそれぞれの地域の環境を踏まえた特色ある事業を実施し、地域の情報発信拠点としての機能を充実していきます。

インターネットを使った図書館の資料や事業などの情報提供の強化や、今後普及が見込まれる電子書籍の導入、図書館資料のデジタル化について準備を進めます。

## (2) 学校および子育て家庭などへの支援

### 【現状】

図書館における子供や子育て家庭への事業は、「練馬区子ども読書活動推進計画（第二次）」などにに基づき、子供たちに読書に親しむ機会の提供として、「おはなし会」(※) や「よみきかせ」(※) の開催、学校などへの図書への団体貸出などの事業を実施しています。

また、南大泉図書館分室こどもと本のひろば（平成 25 年4月開設）を整備して、乳幼児から小学校低学年までを対象とした事業を展開することとしています。

学校へは、学校支援モデル事業などにより、学校図書館の運営を支援しています。

※ おはなし会・よみきかせ：ボランティアなどが、絵本や紙芝居を読んだり手遊びをするなどして、子供たちに本に親しんでもらうための事業

### ◆ 平成 24 年度区民意識意向調査から

#### 〈 子育て中の家庭などへの支援として図書館に求める役割 〉

- ・ 絵本のよみきかせ、おはなし会など、子供向け事業の充実（42.3%）
- ・ 子供の発達段階に応じた図書などの充実（41.0%）
- ・ 子育て支援コーナーの設置（40.6%）

#### 〈 子供の読書活動を推進するために、学校への支援として図書館に求める役割 〉

- ・ 調べ学習や授業に役立つ図書の提供（53.0%）
- ・ よみきかせやブックトークなど、児童・生徒が図書に親しむ機会の提供（37.2%）
- ・ 学級文庫への絵本や読み物の提供（33.6%）

## 【方向性】

本を読むことの楽しさや大切さを習得するためには、子供の頃からの習慣づけが重要であることから、乳幼児期から学齢期、青年期の各年齢層において、読書活動の支援を行います。

また、保護者や関係団体、さらには幼稚園や保育園、学校などに対して支援の充実を図ります。

学校への支援については、関係部所、小中学校と連携して、学校における読書活動の推進および読書センター、学習・情報センターとしての学校図書館の機能強化のため、全区立小中学校に人的支援を含め、支援内容の充実を図ります。

### (3) 図書館の資料や人材の活用

#### 【現状】

図書館では、練馬区長期計画に基づき平成 26 年度に区民一人あたりの蔵書冊数を 2.35 冊とすることを目標に、蔵書の拡充に努めています。その幅広い蔵書を活用し、専門的知識を有する職員が情報の提供やレファレンスに応えています。

また、同計画に基づき、区民の利用機会の拡大・利便性の向上を図るため、図書館資料受取窓口の設置を進めています。

さらに、障害のある方や外出が困難な方、日本語で情報を得ることが難しい外国人へ、図書館サービスの提供を行っています。

#### ◆ 平成 24 年度区民意識意向調査から

〈 今後、区立図書館で取り組んでほしいサービス 〉

- ・ 文芸・趣味・娯楽・実用書などの充実 (36.9%)
- ・ 専門書や調べものに役立つ図書の充実 (30.9%)
- ・ 障害者サービスの充実 (8.8%)
- ・ 外国語の利用案内や外国語の図書など、多文化サービスの充実 (7.8%)

#### 【方向性】

区民の幅広いニーズに応えるため、引き続き蔵書数を計画的に増やしていきます。また、図書館資料受取窓口を増やすなどし、利便性の向上を図ります。

図書館の資料や人材を活用し、レファレンスサービスの充実を図ります。

さらに、障害のある方へのサービスや、外国語図書をはじめとする多言語サービスなどを充実させ、誰でもが図書館を利用しやすい環境を整えていきます。

### (4) 区民や地域との協働

#### 【現状】

図書館では、ボランティアの協力を得て、「ブックスタート」(※)や「おはなし会」などの子供向け事業、録音図書の制作や対面朗読などの障害者サービス事業、図書館資料を使った展示などの事業を行っています。

また、図書館資料の利用に加え、図書館施設を地域活動の場として活用しています。

- ※ ブックスタート：絵本を通じて親子のふれあいを深め、絵本に親しんでもらうための事業。  
絵本を渡すだけでなく、親子のふれあいの大切さや本の説明とともに、よみかせ、わらべうた、手あそびなどを行う

#### ◆ 平成 24 年度区民意識意向調査から

〈 図書館事業に携わったりボランティアをしてみたいこと 〉

- ・ 図書や雑誌などの修理や書棚の整理 (27.7%)
- ・ よみかせやおはなし会など、子供向け事業の企画・運営 (24.5%)
- ・ 図書館に来館することが困難な方への図書や雑誌などの配送や受取 (19.6%)

## 【方向性】

区民が図書館事業の実施などに関わる機会を設け、区民や地域との協働を推進します。

また、区民の生涯学習活動や地域活動への支援として、積極的に図書館資料を提供するとともに、活動の場として施設の活用を図ります。



練馬区公式アニメキャラクター「ねり丸」©練馬区